

平成29年
9月定例会

一般会計補正予算(第2号・3号)案を可決

平成29年第6回(9月)定例会は、去る8月31日から9月21日までの22日間の会期で開かれました。今回の定例会では、「石垣市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」等の条例議案4件、「平成29年度石垣市一般会計補正予算(第3号)」等の補正予算議案8件、「平成28年度石垣市一般会計歳入歳出決算認定について」等の決算認定9件、その他議案6件の計27件の案件が市長より提出され、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。最終本会議に追加議案として「石垣市農業委員会委員の任命について」の同意案が19件提出され、19回の無記名投票の結果、それぞれ賛成多数で同意されました。

また、第5回(8月)臨時会より総務財政委員会において継続審査となっていた「平成29年度石垣市一般会計補正予算(第2号)」については、委員会審査では修正可決すべきものとされましたが、本会議においては賛成多数で原案のとおり可決されました。

議員提出議案については、「新県立八重山病院主入口前への交差点設置を求める要請決議」等2件の決議と「無戸籍問題の抜本的解消及び無戸籍者に対する支援体制の充実を求める意見書」等3件の意見書が提出され、それぞれ可決されました。

台風18号の接近に伴い会期を延長した今定例会の一般質問は、休会を5日間挟む9月11日から9月20日までの10日間の日程で行われ、19人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

サザンゲートライトアップ 平成29年度一般会計 補正予算(第3号) 可決

9月定例会では、総務財政委員会(平良秀之委員長)に「石垣市奨学給付金基金条例」等6件の議案が付託され、慎重審査の結果、「石垣市ひと・まちづくり支援センター設置条例」と「平成29年度石垣市一般会計補正予算(第3号)」を除く4件の議案については、それぞれ全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今回の一般会計補正予算は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ7億34万3千円を追加し、予算の総額を284億1104万8千円と定めるものです。

その主な歳出の内訳としては、総務費で「財政調整基金費」4億4114万9千円「庁舎建設基金費」2億円、「光の架け橋創出事業」で7672万2千円、「エコ 아일랜드化推進整備事業」で6300万円などが計上されており、サザンゲート委員会審査では、サザンゲートブリッジをライトアップする



八島町から南ぬ浜町にかかるサザンゲートブリッジ

トブリッジをライトアップする光の影響や維持管理費について疑問視する意見があり、その事業費を減額する修正案が提出され採決の結果、賛成多数で修正可決すべきものと決定されました。また、「石垣市ひと・まちづくり支援センター設置条例」についても、設置場所に疑問があるとの意見があり採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定されました。

なお、本会議では、委員会でも採決とされた「まち・ひと・とくと支援センター設置条例」は、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。また、委員会でも修正可決とされた一般会計補正予算(第3号)についても、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

その他、経済民生委員会(大石行英委員長)及び建設土木委員会(砥板芳行委員長)においてもそれぞれ特別会計補正予算や決算認定等が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

**給付型奨学金創設
奨学給付金基金条例**
可決

石垣市奨学給付金基金条例は、教育の機会均等の趣旨に基づき、学業に優れた、かつ、経済的な理由により就学が困難な者に対して奨学金を給付するため基金を設置するものです。

本条例の主な内容としては、基金の積み立て、管理、運用益の処理等を規定しております。また、規則において給付額を月額5万円とし、募集人数を2人としており、平成30年度給付開始を指すとしております。

従来の奨学金に加え、給付型奨学金の創設により、本市における教育の機会均等が図られるものと期待されます。